

平成27年度 柏崎市刈羽郡総合教育研究部 活動報告

部長 高橋 一也

1 活動方針

本年度は、各校で取り組んでいる総合的な学習の時間を「小中一貫教育」、「学校支援地域本部事業」等の視点からも捉え、より充実した活動にするとともに、小・中学校7年間を見通した総合的な学習の時間となるよう小・中学校の相互理解と連携をより深めていく。

2 活動の実際

(1) 柏崎市立教育センター研修講座との連携

教育センター専門講座の中で、「谷根川上流溪流ウォーク」「星空観察会」「柏崎の魅力を知り、授業に生かす講座①②」の4講座を共催事業とし、部員の積極的な参加を促した。

現地を見学したり、説明を聞いたり、プログラムを紹介いただいたりする等の具体的な内容は日々の授業に直接結び付くものであり、とても有意義な研修となった。

(2) 講演会の開催

「総合的な学習の時間の授業作り」と題して、外部講師を招聘した講演会を開催した。

総合的な学習の時間で目指す探求的な学習、探求的な学習で目指す授業づくり、そして総合的な学習の時間で利用できる思考ツールについてご講演をいただいた後、実際に思考ツールを使った演習を行った。1校時の授業づくりとして①子どもに持たせたい「新たな認識」②ねらいに応じた学習活動の具体化③1校時の構想の3点は、今後の授業づくりに大きな方向性を示していただいた。



(3) 情報交換会の開催



1月26日(火)柏崎市教育センターを会場に授業実践情報交換会を開催した。部員各自が自校の総合的な学習の時間の実践レポートを持ち寄り、できる限り中学校区を単位とした少人数での情報交換会を開催した。

小・中学校それぞれの実践内容を紹介することにより、発達段階に応じた系統的な学習の在り方や必要性が十分に実感できる情報交換会となった。短時間ではあったが、少人数であったため十分な情報交換が可能となった。

3 成果と課題

今年度は、授業実践情報交換会の時間を十分に確保するため、講演会とは別に開催した。各校で取り組んでいる特色ある総合的な学習の時間の実践を中心に中学校区単位での開催としたことで、小中一貫教育の視点に立った情報交換会となった。

今後は、9年間を見据えた地域の特色を生かした総合的な学習の時間が推進されるよう、各中学校区による積極的な連携が更に必要であると考えている。